



杜の先住民（美奈宜の杜に住む動物達）No.11

美奈宜の杜が一年で一番寒いときです。この時期になると、夏にあれだけ活動していた昆虫は殆ど見ることができません。多くは秋までに死んでしまい、今は卵、幼虫、さなぎといった形態で常緑樹の葉の裏や落ち葉の下などで、寒さに耐え命をつないでいます。それでも15度を超えるような暖かく太陽が差す日には、飛んでいるチョウを見ることがあります。

俳句の世界ではこれを「冬の蝶」や「凍(い)て蝶(ちょう)」とか呼び、冬の季語としてその生きざまが多く作品に詠まれています。小説や演歌のタイトルにも使われ、たいてい何かに耐えて生きる女性がモチーフになっています。美しくはかない感じのチョウが耐え忍ぶ姿は、女性にこそ通じるものなのでしょう。ちなみに坂本冬美が歌う「冬の蝶」の歌詞には「♪せめてぬくもりくれますか ♪女はいつも女はいつも冬の蝶♪」という切ないフレーズが出てきます。今回は、寒さに耐え成虫のまま冬を越す、そんな健気(けなげ)なチョウを3種ご紹介しましょう。

<アカタテハ>

越冬するチョウとして最も知られています。年中いますが、秋になると特に目につくチョウです。

幼いころ近所に赤い袴纏(はんてん)を着た少女がいて、その子の家に遊びに行くと、庭の陽だまりで翅(はね)を休めているこのチョウをよく見かけました。そのとき袴纏の柄とチョウの翅の赤い模様がよく似ていると感じたことを覚えています。以来、アカタテハには、その原風景のような田舎の郷愁を重ねてしまいます。

<ルリタテハ>

色使いはシンプルですが、洗練された美しさを感じるチョウです。秋、熟して道に落ちたカキの汁を吸っているのをよく見かけます。昨秋、大切にしていた庭のヤマユリがルリタテハの幼虫に食べられ、丸坊主になってしまいました。そのうちの一匹はさなぎになったので、ヤマユリの代償として、春には美しいチョウの羽化が見られると、楽しみにしていましたが、数日後にはもぬけの殻になっていました。越冬するチョウは秋にも羽化するのです。ここでは今でも新しい発見があります。

<ウラギンシジミ>

拙宅の南側のかべには、毎年このチョウが来て越冬しています。一般的にチョウの翅の裏側は保護色になっており、地味な色彩なのですがそれでも何らかの模様があります。ところがこのチョウの場合、銀白色一色でなんの模様もありません。目立たないチョウだと思っていたら、翅をひろげて表の鮮やかなオレンジ色を見せてくれました。いつも見せている裏とのギャップが大きく感動しました。これに謙虚さを感じ、ここに来て好きになったチョウのひとつです。

(宇都信泰記)



(アカタテハ:ルリタテハ:ウラギンシジミ画像:ヤフー画像より引用)

区 会 連 絡

☆区会長選挙のお知らせ

今年3月に区会長の任期が終了しますので、区会規則により選挙を実施します。

2月の上旬に、選挙管理人3名(各街区1名)を委嘱し、管理人により選挙のスケジュールを決定の上、皆様に通知します。

☆メディアの取材について

最近、西日本新聞社やNHKが、街内で取材を行っています。美奈宜の杜の実状や取組を取材し、『生涯活躍のまち』構想の先駆的事例として、全国に紹介したいとの事です。

両社に、記事や放送の予定を確認しました。

○西日本新聞社「人口減少社会を考える」シリーズでの連載 2月上～中旬

○NHK「クローズアップ現代」で放映 2月15日の週 夜7:30～の番組

詳細が分かりましたら、各戸に連絡します。

区会 & 生活環境部会

★『生涯活躍のまち』構想

昨年よりお知らせしている、「日本版CCRC」構想は、昨年末に有識者会議から最終報告書が提出され、国の地方創生策の一つとして更に強力に推進されることになりました。

最終報告書の中で、私達の『まちづくり』に関連する追加変更事項を、要約して報告します。

1) 日本版CCRC構想は、『生涯活躍のまち』構想と名付けられました。

2) H28年度中に先駆的取組のモデル事業が選定され、新型交付金で支援されます。

3) 国、地方自治体、事業者の役割が、明記されました。

4) 入居者(住民)が参加する、「運営協議会」の設立が要望されました。

5) 大学などとの連携が、奨励されています。

※当初からの7つの基本コンセプトは、変わっていません。詳細な資料は、コミ協事務局でお渡ししますので、お申し出下さい。また、2月の住民懇談会にても、概要を報告します。

(福元記)

★朝倉市片山副市長との懇談報告

市は、昨年朝倉市版CCRCイニシアティブ事業、『生涯活躍のまち』構想への取組を進めています。住民代表は、美奈宜の杜の経験を活用した『生涯活躍のまち』構想推進を考えて頂くように、片山副市長と面談し、以下の事をお願いしました。

住民側参加者: 鶴田コミ協会長、坂倉社協会長、前田まちづくり総括リーダー、福元区会長

濱崎教授(久留米大学 社会福祉学科)

朝倉市参加者: 片山副市長、宮地保健福祉部長、鶴田総合政策課課長、梅田企画政策係長

宿里企画政策係、岩下ふるさと課共働推進係

1) 美奈宜の杜住民は、市の『生涯活躍のまち』構想の推進に協力し、共に『まちづくり』をしたい。

2) 20周年を迎える美奈宜の杜の記念事業に対する、市からの支援を要請。

3) 市の『生涯活躍のまち』構想が、新型交付金の対象モデル事業に選定されるように、朝倉市、美奈宜の杜住民、西ビルは協力する。

4) 今後、上記3者は『生涯活躍のまち』構想推進のため、定期的に打合せを行う。

当日は、NHKの「クローズアップ現代」の取材が入り、また濱崎教授からは、研究者から見た、美奈宜の杜住民の『まちづくり』に関して、前向きな取組との発言がありました。

濱崎教授には、朝倉市版の『生涯活躍のまち』構想(サブタイトル: 美奈宜の杜20年の歩み)をテーマにした、シンポジウムのコーディネーターをお願いしています。シンポジウムの開催は、市が国の助成金を申請中のため正式決定ではありません。

(鶴田記)

☆新入居者のお知らせ

○石丸さん (定住) ○星野さん (セカンド)

○日野さん (セカンド) ○別府さん (セカンド)

○松本さん (セカンド) ○黒木さん (定住)



編集後記- 思わぬ大雪で、街の機能が止まってしまいました。怪我をされたり、水道管の凍結などで、生活に支障が出たお宅がありました。朝倉市、西ビル、住民組織が共に、声を掛け合い、大障害には至りませんでしたが、今後対策が必要な課題が見えてきました。今年は、2月には暖くなり、春の訪れが早いとのことで、待ち遠しく思います。1月から始まったマイナンバー制度の説明会には、70名の方が参加されました。開催した市役所の方も、参加者の多さや、難しい質問に驚き、勉強しましたとの事でした。質問等ある方は、市役所に直接TELなどで問合せ下さい。

(福元記)